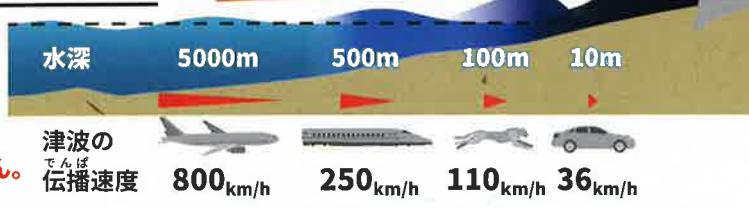


津波から身を守るために

津波を知る

津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

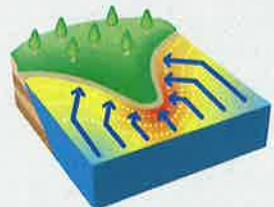
- ❖ 沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります**。
- ❖ 津波の速度は非常に速く、**見てから逃げるのでは間に合いません**。
- ❖ 周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。
後から来る津波の方が高くなることもあります。
- ❖ 津波の力は非常に強く、**50cm程度の津波であっても立っていられず、流されてしまいます。**
- ❖ 津波は「引き」から始まるとは限りません。
“潮が引いたら逃げればよい”というの大きな間違いです。
- ❖ 沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなることもあります。**
- ❖ 潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで
数時間以上かかることもあります。



地形による津波の増幅の例



V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。



岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し、波高が高くなります。

津波に備える

✓ 危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。



津波注意

津波が来襲する危険のある地域を示します

✓ 避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

津波に対し安全な避難場所を示します

✓ 訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。



海辺で強い揺れを感じたら …

海辺から離れ

長くゆっくりした揺れを感じたら …

より高い安全な場所へ !!

津波警報等を見聞きしたら …

解除まで気をつけて

- ❖ 津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。
津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。



注意報でも海中は危険

- ❖ 津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。



正しい情報を入手

- ❖ テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。

